

地域のボランティアスクール

ふれあい

2022年5月号 No.53

横浜みどりの学校ひまわり

こんな学校があってもいいかも（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、10年前に開設されました。

マイノリティを考える

校長 渡辺 正彦

最近よく耳にするマイノリティとは「社会的少数派」を表す言葉と認識しております。

社会的少数派とされる白人多数社会の中での黒人や東洋系人への蔑視・差別さらには性同一者への奇異の視線や対応などが近年社会問題化しております。社会的少数派へのこの類の偏見や差別はもしかして有史以来の現象なのかも知れません。

左利きな私自身も子どもの頃は友達から「ぎっちょ(左)」と罵られ、奇異な目で見られ親や教師からは矯正指導を受けました。親や友達の「ぎっちょ」は治すべきの根拠は、ぎっちょと並んで一緒に食事をすると箸を持つ私の左手と横に座る相手の右手の箸手がぶつかり迷惑だ、との理由でした。これには、「人に迷惑をかけるな」、「人と同じ道を辿れば安泰」の発想があったのでしょうか。一昔前の流行言葉にあった「赤信号みんなで渡れば怖くない」的な。

多数意見至上主義、少数意見抹殺の国の中には侵略や戦争という悲劇に突き進む国も存在する現代でマイノリティの尊厳や尊重はとても大切なことだと思います。

前述の私の「ぎっちょ差別や偏見」はその後、私が地域の少年野球チームに所属してサウスポー選手として活躍すると差別や偏見はやがて賞賛に代わっていきました。チームにとって左利き選手の存在の有益性が認められたのです。

徒歩 10 分の自分の学校(在籍公立学校)に行かずに電車で往復 3 時間以上もかけてわが校、横浜みどりの学校ひまわりに通う子ども達の多くはマイノリティの子ども達です。

学校の騒音に耐えられない子ども、友達関係が構築できない子ども、起立性調節障害で朝からの活動が困難な子など様々です。5年生で微分・積分を難なく解くがひらがなが苦手な子ども、IQが160(平均100)もあるが知覚過敏な子どもなどさまざまです。

そのような子ども達は巷の学校で実施している全ての教科や領域を満遍なく伸ばす教育(ジェネラリスト育成教育)は、不適です。マイノリティの子ども達の個性や能力を認めて、その卓越した能力の一部を伸ばす教育(スペシャリスト育成教育)こそが「マイノリティ教育」です。マイノリティを認め、活用することこそ喫緊の課題です。

マイノリティの人々の価値を好評して活用するニューロ・ダイバーシティ(脳の多様性)の考え方が話題になっております。欧米の先進企業や軍隊の中には、挙ってこれらの人を企業戦略や防衛戦略の一翼に添えるところが増加しているようです。

町の小さな学校「横浜みどりの学校ひまわり」はそんな子ども達の先を見据えた学校でありたいと思います。

「赤信号、みんなで渡れば怖くない」から「青信号、渡るか否かは個人の自由」、こんな発想の学校でありたいと思います。

ひまわりの日常活動から



◇通信制コース始動

遠距離通学者やひまわりに登校するのが苦手な子ども達の支援に開設したひまわり通信制コース「ひまわりオンライン」が4月から12講座の内容で始動しました。講座の中にはひまわりの子どもが講師を務める語学講座や点字講座もあります。

◇講座の一つ「アンナの地球儀教室」

現在ヨーロッパに留学中の現役女子高校生のオンライン講座です。毎回留学先で友達になった各国の高校生が登場して、ひまわりの子ども達と交流する企画です。各国の文化を理解する国際理解教育でもあります。



◇ひまわり生徒会(仮称)設立準備中

先に開催された教務部会で子ども達からの要望でもある「ひまわり生徒会」(仮称)を設立させる方向で準備を進めることになりました。生徒会設立の主な目的は、子ども達のひまわり運営参加、責任や自主性、コミュニケーション能力の向上などです。新たなひまわりの第一歩として期待されます。

◇ある日の「校長タイム」の光景から

「校長タイム」は毎日、昼食後に設定されております。目的は、校長によるソーシャルスキルの集団指導です。この日は、ブックトークにつながる指導が行われました。「阪神・淡路大震災」をテーマにした物語を朗読した後、情景や人物の心情などを語り合う学習でした。出席者は非常に真剣に取り組めました。この学習のねらいは、話し合いのルールなどのコミュニケーション能力の育成と想像力の向上です。本校の子ども達の苦手とする分野を集団の力で克服することがねらいです。



◇ある日のフィールド活動の光景から

ひまわりでは、室内での活動の他に、午後からは野外で体を動かす活動が設定されております。小春日和のこの日は、大学生ボランティア先生の指導で近くの公園で鬼ごっこ、ドッチボール、サッカーなどをしました。運動が苦手な子どもは応援も可能です。



◇ある日の学習室の光景から

ひまわりでは、希望者には専任の講師を配置して個別の学習指導をしております。この日の学習室の子ども達は、個別指導より自習希望の子ども達でした。中学生の彼女達は自宅から持参したドリルに熱心に取り組んでいました。彼女達の質問にも応じられるように指導者は別室で待機します。

◇「ふれあいレストラン」営業中

ひまわり版「こども食堂」が「ひまわりふれあいレストラン」です。食材はひまわり農場のオーガニック野菜と神奈川フードバンクから提供されたものです。



4月27日(土)

メニューは「ハヤシライスと長葱とシーチキンの中華和え」
大好評で「短期完食」でした！

5月21日(土)

メニューは「サバのトマト煮とサバの醤油煮、味噌汁、食後の紅茶」
サバ食の後は「みんなサバサバ」です！



◇のら猫の気持ち理解プロジェクト

ひまわりのコンセプトは「身近なもの全てが教材」です。今回は校長の発案によりひまわり農場に来るのら猫(地域猫?)を教材にしました。猫の気持ちの理解から始まり、猫とコミュニケーションをとる方法などを考え、実践します。校長は既に猫との交流ができるようになりました。この取組を通して子ども達の心が開かれ、猫との交流で学んだことを人との交流に生かして欲しいものです



◇ひまわり畑より



イチゴは真っ赤に実り、夏野菜もどんどん大きく育っています！

◇4月の工作



さつきが丘ケアプラザ主催のクイズラリーでひまわり農場がポイントになりました。

校内人事

- ・東京、蒲田から来校の A 先生(男性)が新設の軽井沢校舎の土曜日学習センターの室長に就任しました。
- ・元保護者の B 先生(女性)が「メンタル心理カウンセラー」「不登校カウンセラー」の有資格者になったのを機会に本校ボランティアに就任しました。
- ・O大学生のC先生(女性)が新たにボランティアに加わりました。
- ・校長代行メンバーのD先生が都合で代行職を辞して一般ボランティアになりました。
- ・昨年まで市内小学校の先生でおられたE先生(女性)が職場復帰のため勤務形態が変更になりました。

長崎県出身の村上先生は、元航空会社の社員です。60歳代ながら至ってお元気で東京の羽田から50ccのバイクで2時間近くかけて（途中多摩川べりで休憩）通って来てくれます。先生はベーシックインカムの方の考えの賛同者です。自身も過激な生活は避けて、その余った時間と余力を地域や社会のために提供しております。

本校では、主に、校内外の営繕作業、機械の修理・整備、農業活動の裏方作業などをしており、時には子ども達にその活動を指導しております。本校にとっては貴重な存在であり、子ども達にとってもその生きざまは意味のあるものです。

温厚で包容力のある村上先生はボランティアの皆様にも大人気で、村上先生の勤務日にあわせて勤務するボランティアもいるくらいです。梅雨の季節が間近、村上先生の営繕活動に期待がかかります。



村上先生の最新作 リクガメ小屋

今月のひまわり推薦図書

「今ここ」神経系エクササイズ

神経セラピスト 浅井咲子著

自律神経は生命活動のバランスを整える神経で、私たちの体を24時間コントロールしています。人間は脳が発達しているため神経系も複雑で環境の変化で敏感に反応します。

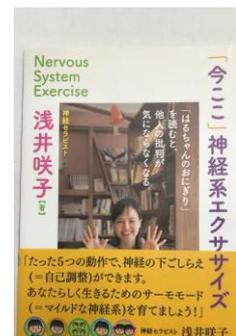
みなさんも怖い思いをすると体が動かなくなる、好きな音楽を聴くとリラックスできる、つらいことがあって眠れなくなるなど経験したことがあると思いますがこれにも神経系が深く関わっていて、その仕組みをわかりやすく解説してある本です。

前半は「はるちゃんのおにぎり」という絵本仕立てになっています。

お子さんとともに読みながら神経の自己調整のための簡単なエクササイズも紹介されているので一緒にトライされてはいかがでしょうか。

後半部分には大人向けの解説も載っています。

この本が少しでも自律神経を自分でメンテナンスできることのヒントになればと思い推薦いたします。



～公認心理師 矢野先生推薦

ボランティア募集

【内容】子どもの見守り、学校事務など

【条件】・週1回以上勤務可能な方
・臨床心理士(公認心理師)など有資格者

以上のような方を特に求めています。

★ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、渡辺（090-9201-3992）までお気軽にお問い合わせください。
最新情報はホームページ
<http://himawari-school.jp/>
とFacebookにてアップデートしています。